

講演テーマ「理化学研究所 講演会&実用化施設見学会」

～宇宙望遠鏡の開発～太陽光収集システムまで～

- 日時 2016年12月14日(水)
- 場所 理化学研究所(和光市)
- 参加人数 26名
- 担当幹事 竹谷和芳



大森整先生ご略歴

現職

独立行政法人 理化学研究所 基幹研究所

大森素形材工学研究室 主任研究員

1991年3月31日

東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了、
工学博士

1991年4月1日 理化学研究所 入所 素材工学研究室研究員

2001年4月1日 同研究室主任研究員

2004年4月1日 現職

第333回 オプトフォーラムは、光交流会のアドバイザーとしてお世話になっている理化学研究所 大森素形材工学研究室、主任研究員 大森 整 先生にお願いし、講演と施設見学会を行いました。

講演では、ナノレベルの超平滑加工法の研究開発を通して、光学素子や天文光学素子、そしてセンサー、マイクロツール開発、さらに次世代の微細光学機器や環境・エネルギーを支える太陽光オプティカルシステムの話がうかがえました。ナノレベルの超精密加工から、限らない宇宙の未知への探求、挑戦、近未来エネルギー開発、お話は、各方面に広がり尽きることがありませんでした。先生には是非とも、再度の講演をお願いして見学会へ移りました

実験室では、ELID 研削の応用機、超微細加工装置など、なかなか見ることの出来ない加工装置を見学させていただきました

別棟にある実用化施設内では、国際宇宙ステーションISSで、日本の Japan Experiment Module (JEM) 船外実験プラットフォームに装着される、超広視野望遠鏡に使われる超精密大口径フレネルレンズを加工する研削装置を前に、詳細な解説していただきました

続いて、理化学研究所構内の、広沢クラブにて、懇親会を行いました講演会でのお話が、非常に興味深いお話だったこともあり、挨拶、質問、さらなる話をうかがう方々が、先生を囲み、輪が崩れることが無いまま、大締めとなりました。

大森先生には、ご多忙の折、長時間お時間をいただき、厚く御礼申し上げる共に、益々のご活躍をお祈り申し上げます

担当 竹谷 和芳

